


特定非営利活動法人 日本免疫学会
2019年度 前期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	古山 琴菜	会員番号	0035458	
申請者の所属・職名	筑波大学 人間総合科学研究科疾患制御医学専攻 博士2年			
出席会議名	EULAR EUROPEAN CONGRESS OF RHEUMATOLOGY 2019			
発表論文タイトル	Analysis of the role of RORγt⁺Foxp3⁺ (Tr17) in the regulation of autoimmune arthritis			

実施結果:

この度は令和元年度前期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award に採択頂き誠にありがとうございました。

私は6月12日から6月15日にかけてスペイン・マドリードにて行われた EULAR EUROPEAN CONGRESS OF RHEUMATOLOGY 2019 という、世界で一番大きい規模であるリウマチ学会に参加し、Tr17 という ROR γ t を発現する制御性 T 細胞サブセットがコラーゲン誘導関節炎を抑制するという我々の最新の知見を発表してきました。

EULAR にポスター発表で参加したことで、同じ Tr17 について研究している海外の方に出会うことができました。その方には、「Tr17 が Th17 を抑制している可能性があると考えれば、Tr17 と Th17 の coculture を行うべき。」と意見をいただき、今後の実験に加えようと考えました。他にも、私の研究に関して様々な意見をいただき、非常に参考になりました。また、他の研究者のポスターを通して自身の研究のためになる様な最新のデータを得ることができました。

自身の研究関連以外にも、EULAR では最先端の医療の情報が沢山あり、講演を聞いていて楽しかったです。

最後に、この様な機会を与えて頂きました岸本忠三先生をはじめとします選考委員の先生方にこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。また、研究のご指導を頂いた住田孝之教授、松本功准教授、近藤裕也先生、ならびに研究室の皆様にご心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みとし、本学会中に得られた知見を活かし、今度のさらなる研究に精進していきたいと思っております。